Title	肺癌生物学解明のためのトランスレーショナル研究基盤構築
Sub Title	Translational research for lung cancer biology
Author	安田, 浩之(Yasuda, Hiroyuki)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2021
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2020.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>我々は肺癌の生物学の理解のため患者検体を用いて、その分子異常の把握を行っている。そのために、書面での同意を取得後、肺癌患者由来の癌組織あるいは対になる非癌組織を取得し、保存管理するバイオバンクシステムを構築している。また、取得した患者検体から癌細胞と、肺上皮由来の細胞を分離し、細胞株の作成やオルガノイドの作成を精力的に行っている。本研究ではこのような、肺癌のトランスレーショナルリサーチを精力的に行うための基盤整備のための研究を行った。実験のなかで複数の肺癌細胞株、気道上皮由来のオルガノイド、肺癌オルガノイドを樹立した。樹立したオルガノイドに関しては、肺癌で使用される様々な薬剤を用いて薬剤感受性検査も行った。その中で、肺癌オルガノイドで評価した薬剤感受性データが、臨床を反映するものであることを確認した。</p> <p>We have performed lung cancer research at a clinically relevant level. In this study, we have established multiple lung cancer cell lines, lung airway cell-derived organoids and lung cancer-derived organoids after obtaining written informed consent. In addition, the lung cancer organoids were evaluated for drug sensitivity. We confirmed the clinically relevant drug sensitivity profiles.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2020000008-20200243

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	医学部臨床教室	職名	専任講師	補助額	300 (A) 千円
	氏名	安田 浩之	氏名 (英語)	Hiroyuki Yasuda		
研究課題 (日本語)						
肺癌生物学解明のためのトランスレーショナル研究基盤構築						
研究課題 (英訳)						
Translational research for lung cancer biology						
1. 研究成果実績の概要						
<p>我々は肺癌の生物学の理解のため患者検体を用いて、その分子異常の把握を行っている。そのために、書面での同意を取得後、肺癌患者由来の癌組織あるいは対になる非癌組織を取得し、保存管理するバイオバンクシステムを構築している。また、取得した患者検体から癌細胞と、肺上皮由来の細胞を分離し、細胞株の作成やオルガノイドの作成を精力的に行っている。本研究ではこのような、肺癌のトランスレーショナルリサーチを精力的に行うための基盤整備のための研究を行った。実験のなかで複数の肺癌細胞株、気道上皮由来のオルガノイド、肺癌オルガノイドを樹立した。樹立したオルガノイドに関しては、肺癌で使用される様々な薬剤を用いて薬剤感受性検査も行った。その中で、肺癌オルガノイドで評価した薬剤感受性データが、臨床を反映するものであることを確認した。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>We have performed lung cancer research at a clinically relevant level. In this study, we have established multiple lung cancer cell lines, lung airway cell-derived organoids and lung cancer-derived organoids after obtaining written informed consent. In addition, the lung cancer organoids were evaluated for drug sensitivity. We confirmed the clinically relevant drug sensitivity profiles.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			